

KCO Kioi Hall Chamber Orchestra Tokyo



紀尾井ホール室内管弦楽団

第137回定期演奏会

古楽第3フェーズを代表する世界最高峰のアーティスト、ダントーネが満を持して日本の楽壇へ登場。激情と官能の領域を自在に歌い分けるガルーも招き、KCO主催初のバロック・アリア公演をお届けします。

指揮 & ピアノ conductor & piano

オッターヴィオ・ダントーネ

Ottavio Dantone

コントラルト *contralto*

デルフィーヌ・ガルー

Delphine Galou

The 137th Subscription Concert

ヘンデル 歌劇《アルシーナ》HWV34～序曲、ガヴオット、サラバンド、ガヴオット、アリア《復讐してやりたい》

Händel Overture, Gavotte, Sarabande, Gavotte, Aria "Vorrei vendicarmi" from «Alcina» HWV 34

歌劇《ジュリオ・チェーザレ》～アリア《花咲く心地よい草原で》

Aria "Se in fiorito ameno prato" from «Giulio Cesare»

歌劇《リナルド》～アリア《風よ、暴風よ、貸したまえ》

Aria "Venti turbini prestate" from «Rinaldo»

ポルポラ/ダントーネ編 ピアノ協奏曲ト長調 (原曲: チェロ協奏曲) [アジア初演]

Porpora Piano Concerto in G major (transcription by O. Dantone from Cello Concerto) [Asian premiere]

ヴィヴァルディ 歌劇《テンペのドリッラ》～シンフォニア

Vivaldi Sinfonia from «Dorilla in Tempe» RV 709

歌劇《救われたアンドロメダ》～アリア《太陽はしばしば》

Aria "Sovente il sole" from «Andromeda liberata»

歌劇《狂えるオルランド》～アリア《真っ暗な深淵の世界に》

Aria "Nel profondo cieco mondo" from «Orlando furioso»

グルック 歌劇《パリーデとエレナ》～アリア《甘い恋の美しき面影が》

Gluck Aria "Le belle immagini" from «Paride e Elena»

ハイドン 交響曲第81番ト長調 Hob.I:81

Haydn Symphony No. 81 in G major Hob.I:81

©Giulia Papetti

©Giulia Papetti

日時・会場 2023年 11月17日 金 開演19時 (開場18時30分)
19:00 on Friday, November 17th

18日 土 開演14時 (開場13時30分)
14:00 on Saturday, November 18th

紀尾井ホール
Kioi Hall

料 (消費税込) 金 S席 8,800円 A席 7,800円 B席 5,800円
U29 A席 2,000円 U29 B席 1,500円

当日会場価格は各券種+500円となります (各種割引の対象外)

※料金は税込のみです。本紙掲載の料金のほか、所定の手数料がかかります。手数料はお支払方法により異なります。

※各会員割引は各公演1会員様4枚までとなります。

※U29は公演当日に29歳以下の方を対象とする優待料金です。取扱いは紀尾井ホールウェブチケットのみで、枚数には制限があります。詳しくは紀尾井ホールウェブサイトをご覧ください。

無料で招待席「紀尾井みらいシート」

小学生から高校生まで (公演日基準) とその保護者をご招待。詳しくは裏面をご覧ください。

発売日

2023年7月21日 (金) 正午 (12時) ~

チケット申込み

紀尾井ホールウェブチケット
<https://kioihall.jp/tickets>

操作方法については、ヘルプデスク 0570-550372

(火~金 12時~16時) へお問合せください。

チケットぴあ <https://t.pia.jp> [Pコード:244-000]

イープラス <https://eplus.jp>



※出演者・曲目は予告なく変更となる場合があります。
※小学生のご鑑賞には保護者 (成人) のご同伴をお願いします。
※乳幼児等未就学のお客様のご同伴・ご入場はご遠慮ください。

※不測の事態で公演中止となる場合がございます。その場合はウェブサイトにてお知らせいたします。公演中止の場合に限り、チケットご購入者に券面表示金額にて払戻しいたします。

〔主催〕公益財団法人 日本製鉄文化財団

〔特別協賛〕三井不動産株式会社

〔協賛〕三井物産株式会社

三菱商事株式会社

紀尾井ホール室内管弦楽団 第137回定期演奏会

2021年5月からの再企画公演となります。バロック音楽の世界的権威ダントーネが日本のオーケストラにデビューします。プログラムは得意のヴィヴァルディからハイドンまでのバロック&古典派音楽に、アバドの追悼公演用にダントーネ自身が編曲したボルボラの傑作協奏曲のアジア初演も加え、ダントーネの音楽の魅力了指揮とソロの両面で存分にお楽しみいただきます。またコンサートの前半には、公私ともに彼のパートナーで、これが初来日となるデルフィーヌ・ガルーによる、華麗なアジリタや美しくしっとりとした情感で彩られたバロック・オペラの名アリアの数々もお届けします。



指揮 & ピアノ
オッターヴィオ・ダントーネ Ottavio Dantone, conductor & piano

ミラノのヴェルディ音楽院でオルガンとチェンバロを学んだ後、コンサート活動を開始。すぐに同世代のチェンバロ奏者の中で最も才能ある一人として批評家の注目を浴びるようになった。1985年パリ国際コンクールにて通奏低音賞、1986年にはブルージュ国際コンクールにて第3位を受賞。特に後者での入賞はイタリア人として初めてであり、国際的な知名度を一気に高めた。ラヴェンナのバロック・オーケストラ、アカデミア・ビザンティーナとのコラボレーションは1989年に始まり、バロック時代の歴史的演奏法に対する深い理解から、1996年には同グループの音楽監督に指名された。彼とアカデミア・ビザンティーナのコンビは、今日の国際舞台で最も優れたピリオド楽器オーケストラのひとつであると評価されている。

この20年間、ダントーネは、ソリスト、室内楽や室内オーケストラの指揮者としての活動に加え、古典派やロマン派のレパートリーにも徐々に手を広げている。オペラ指揮者としては、1999年、ラヴェンナのアリギエーリ劇場でジュゼッペ・サルティの《ジュリオ・サビーノ》をアカデミア・ビザンティーナと初めて現代に復活上演し、デビューを果たした。以来、ミラノ・スカラ座、パリ国立オペラ座、マドリッド・レアル劇場、チューリヒ歌劇場、バイエルン州立歌劇場、グラインドボーン音楽祭、ロンドン・プロムスなど、世界の著名な音楽祭や劇場で、有名なオペラから、ほとんど上演されてこなかったオペラの再発見とその現代初演までを指揮している。2021年イタリア共和国大統領よりイタリア共和国功労勲章コンメンダトーレ(Commendatore dell'Ordine al Merito della Repubblica)を授与された。2022年ボルツァーノ・トレント・ハイドン・オーケストラの首席指揮者に就任。さらに、2023年9月よりインスブルック古楽音楽祭の音楽監督に就任、24~28年の同音楽祭を統括する。ソリストおよび指揮者として、デッカ、ドイツ・グラモフォン、ナイヴ、ハルモニア・ムンディなどのレコード会社で録音。映像ソフトも多く、数々の国際的な賞を受賞し、高い評価を受けている。

コントラルト
デルフィーヌ・ガルー Delphine Galou, contralto

パリ生まれ。ソルボンヌ大学で哲学を学ぶ傍ら、ピアノと歌を学ぶ。2000年にフランス・ラン国立歌劇場のオペラ研修センター「Jeunes Voix du Rhin」のアンサンブルメンバーとしてキャリアをスタート。その後、古楽を専門とし、バルタザール・ノイマン・アンサンブル(トマス・ヘンゲルブロック)、イ・パロッキスティ(ディエゴ・ファゾリス)、コレギウム1704(ヴァーツラフ・ルクス)、ヴェネツィア・バロックオーケストラ(アンドレア・マルコン)、イル・コンプレッソ・バロッコ(アラン・カーチス)、レ・シエクル(フランソワ=ガザヴィエ・ロト)、レザール・フロリサン(ジョナサン・コーエン)、ル・コンセル・ナシオン(ジョルディ・サバル)、アンサンブル・マテウス(ジャン=クリストフ・スピノジ)、レ・ミュージシャン・ドゥ・ルーヴル(マルク・ミンコフスキ)、コンセル・ダストレ(エマニュエル・アイム)、レ・タラン・リリク(クリストフ・ルセ)といった名うてのアンサンブルとコラボレーションを重ね、コンサートや、特にバロック・古典派のオペラに出演。2004年にはフランス若手芸術家振興会ADAMIの「ディスカバリー・オブ・ザ・イヤー」に選出される。2022年はモンテヴェルディ音楽祭ほかで《ウリッセの帰還》(ベネロペ)、ボーン・バロック音楽祭でヘンデル《ジュリオ・チェザレ》(コルネリア)、同年秋にはアン・デア・ウィーン劇場ほかでヴィヴァルディ《バヤゼット》(アステリア)に出演。また2023年7月には《セメレ》イノ役でバイエルン州立歌劇場にデビュー予定。録音では、2018年9月、アカデミア・ビザンティーナと録音したCD『Agitata』がグラモフォン賞の年間ベストリサイタル賞を受賞。その他にも、バッハ《ヨハネ受難曲》(ミンコフスキ指揮)、ヴィヴァルディ《テウツォーネ》(サヴァール指揮)、《ダリオの戴冠》、ロシーニ《小荘厳ミサ曲》(ダントーネ指揮)、ステファン《ニオペ》(ヘンゲルブロック指揮、DVD)、スラトキン指揮リヨン国立管弦楽団とラヴェルの歌劇《子供と魔法》(ドイツ・グラモフォン)など多数をリリースしている。



©Giulia Papetti

紀尾井ホールにご支援いただいている企業および個人の方々です

- 紀尾井サポートシステム会員(五十音順/株式会社等表記及び敬称略)
- 《特別協賛会員》 日鉄ソリューションズ/三井不動産/三井物産/三菱商事/三菱地所
 - 《みやび会員》 伊藤忠商事/大島造船所/商船三井/菅原/住友商事/日本郵船/丸紅/三井住友銀行/三井不動産/三井物産/三菱商事/三菱地所/メタルワンほか匿名2社
 - 《ひびき会員》 オカムラ/高砂熱学工業/竹中工務店/東京きらぼしフィナンシャルグループ/山下設計
 - 《みどり会員》 青鬼運送/赤坂維新/今治造船/ヴォートル/エーゲーディ/NTTドコモ/荏原冷熱システム/鹿島建設/ザ・キャピタルホテル 東急/三協/清水建設/上智大学/西武リアルティソリューションズ/大成建設/千代田商事/テイク・ライフ/東芝ライテック/永田音響設計/ニュー・オータニ/ハウス食品グループ本社/パナソニック/三井住友信託銀行/三菱UFJ銀行/三菱UFJ信託銀行/三菱UFJ信託銀行/三菱UFJ信託銀行/三菱UFJ信託銀行/三菱UFJ信託銀行/明治舞台/ヤマハサウンドシステム/ワークショップ21
 - 《あおい会員》 青木陽介/浅見 恵/石崎智代/磯部治生/伊藤眞理子/井上善雄/岩城宏斗/上野真志/馬屋原貴行/大内裕子/大垣尚司/大久保なほ子/太田清史/小川 保/小倉 ヒロ・ミハエル/小樽茂隆/禮谷敏秀/片山國正/片山能輔/加藤悠一/加藤優一/神川典久/川口祥代/川島知恵/菊池恒雄/木谷 昭/楠野貞夫/栗山信子/河野紗妃/小坂部恵子/小西美由紀/斎藤公善/坂詰貴司/佐久間庸行/佐藤いづ子/潮崎通康/清水 正/清水多美子/清水康子/白土英明/鈴木順一/鈴木 亮/高下謙彦/武上由佳/田中 進/戸田純也/外山雄三/鳥居莊太郎/内藤美奈子/内藤基之/中塚一雄/中西達郎/中野洋子/中村健司/中山昌樹/名取正夫/西村勉美/原田清朗/日原洋文/冬木寛義/北條哲也/堀川将史/牧本恵美子/松枝 力/松本美恵/丸井正樹/饗輪永世/宮武正次/宮田直子/宮武悦子/宮原 薫/宮本信幸/野田 村/村上喜代次/村上敏子/持留宗一郎/八木一夫/八木晶子/矢田部靖子/山内寿実/横手 聡/渡邊一夫/渡辺弘次/渡辺由香里 ほか匿名45名 計243社
- (2023年6月1日現在)

無料ご招待席 紀尾井みらいシート

紀尾井ホール・日本製鉄文化財団では若い世代の方に生演奏の感動を体験いただくための「紀尾井みらいシート」を設けています。小学生から高校生の皆さんを対象に主催公演にご招待します。

対象：小学生から高校生まで(公演日基準)とその保護者(※)
※小学生は保護者同伴必須、
中学生は保護者の承諾で本人単独での応募・来場可。

ご招待席数：10席
募集期間：2023年7月21日(金) 正午～10月17日(火) 正午
当選通知：締め切り後1週間をめぐにお知らせします。
応募方法：以下のURLを直接入力いただくか、
右QRコードからお進みください。
<https://kiioihall.jp/kiioimiraishit>
※応募多数の場合は抽選となります。



日本製鉄文化財団 紀尾井ホールでは、皆さまからのご支援をお待ちしております。
＜紀尾井サポートシステム(寄附会員制度)＞はこちら →



紀尾井ホール 公益財団法人 日本製鉄文化財団

〒102-0094 東京都千代田区紀尾井町6番5号 ☎03-5276-4500(代)
紀尾井ウェブサイト <https://kiioihall.jp>

●四ツ谷駅 赤坂口・麹町口(JR線・丸の内線・南北線)徒歩6分 ●麹町駅 2番出口(有楽町線)徒歩8分
●赤坂見附駅 D出口(銀座線・丸の内線)徒歩8分 ●永田町駅 7番出口(半蔵門線)徒歩8分